

2017 年 10 月 23 日

アウディ ジャパン株式会社
プレス問い合わせ 03 - 5475 - 6309
<https://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ 0120 - 598106
アウディ コミュニケーションセンター

新世代モデルとして復活した RS のアイコン 新型 Audi RS 4 Avant



—Tokyo Motor Show 2017／参考出展車—

- パワーと燃費を格段に向上した 2.9 TFSI エンジン
- 日常的な実用性も兼ね備えたオールラウンドな高性能モデル

新型 Audi RS 4 Avant は、運動性能と実用性をきわめて高いレベルで両立させたオールラウンドな高性能モデルです。搭載する 2.9 TFSI エンジンは、331kW (450PS) のパワーと 600Nm のトルクを発揮。A4 ファミリーのトップスポーツバージョンに相応しいクルマに仕上がっています。この V6 バイターボエンジンのハイパワーは、8 速ティプトロニック及び quattro ドライブシステムを介して 4 輪に分配されます。「Audi RS 4 Avant は、Audi Sport がつくる RS モデルのなかでも、特別な伝統を持ったクルマのひとつです。4 世代目にあたる新型は、ほかのすべての RS モデル同様、パフォーマンスと日常的な実用性を完璧な形で融合したクルマになっています」と Audi Sport GmbH の CEO を務めるステファン・ヴィンケルマンは述べています。



*写真は欧州仕様車です。

ルーフエッジスポイラーが備わった特徴的なリヤエンド

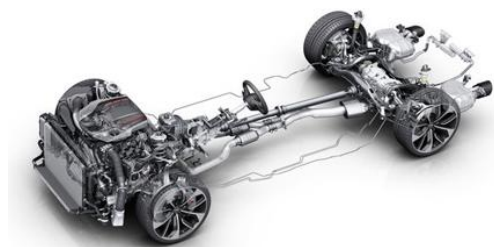
新しい Audi RS 4 Avant を開発するにあたり、担当デザイナーは、かつて北米のモータースポーツシーンを賑わせた Audi 90 quattro IMSA GTO からインスピレーションを得ました。フロントエンドでは、ハニカムパターンを備えた大胆なエアインレットと、幅広く平たいシングルフレームグリルが、RS モデルならではのダイナミックなイメージを創出しています。通常の Audi A4 Avant に対し、ホイールアーチの部分が 30mm 幅広くなっており、quattro プリスターによりこの箇所がさらに強調された形になっています。リヤエンドでも、RS 専用デザインのディフューザーインサートや、RS エグゾーストシステムのオーバル型テールパイプ、RS 専用デザインのルーフスポイラーなどにより、精悍な佇まいが演出されています。標準装着されるホイールは、20 インチアロイホイールとなります。Audi exclusive からオプションで提供される「ノガロブルー パールエフェクト」は、1999 年に発表された初代 Audi RS 4 Avant を彷彿とさせるエクステリアカラーです。



0-100km/h 加速 4.1 秒、RS スポーツサスペンションを標準装備

新型 Audi RS 4 Avant に搭載される 2.9 TFSI V6 バイターボエンジンは、331kW (450PS) のパワーを発揮し、600Nm の最大トルク（従来型 Audi RS 4 Avant と比較すると 170Nm アップ）を、1,900～5,000rpm の幅広い回転域で提供します。その強大なパワーにより、新型 Audi RS 4 Avant の 0-100km/h 加速は 4.1 秒、最高速度は 280km/h となります。（性能数値はいずれもヨーロッパ仕様のものです）

2.9 TFSI エンジンの 2 つのターボチャージャーは、シリンダーバンクの間に配置されており、取り込んだ空気をそれぞれのターボチャージャーを経由して燃焼室に送るにあたり、デュアルブランチのシステムを用いることでシャープなレスポンスを得ています。新しい「B サイクル」の燃焼方式に加えて、直噴システムのインジェクターを中央に設置することで、高性能な RS モデルとしてはかつてない高効率を実現しました。圧縮工程が短縮されたことで、数値上の圧縮比をかなり高く設定することが可能になっており、それを圧縮工程に対して相対的に長い膨張行程と組み合わせることで、より高い燃焼効率を得ることに成功しています。実際、ヨーロッパのドライビングサイクル（NEDC）での燃料消費率は 100km 走行あたり 8.8ℓ で、CO₂ 排出量に換算すると 199g/km に相当します。従来型 Audi RS 4 Avant と比較すると、燃費効率は 17% 向上しており、これには効率化されたエンジン、駆動システムのほか、旧型より 80kg 軽い 1,790kg に抑えた車両重量（空車時）が貢献しています。



2.9 TFSI バイターボエンジンのパワーは、スポーティなギア比が設定された 8 速ティプトロニックを介して、quattro フルタイム 4WD システムに伝えられます。そこで駆動力が、前後のアクスルに非対称（40：60）に分配され、これによりトラクションと走行安定性を最適化しつつダイナミックなハンドリング性能を得ることができます。後輪左右間のトルク分配をアクティブに制御してハンドリング性能を高めるスポーツディファレンシャルが標準装備となります。

ダイナミックライドコントロール（DRC）を採用した RS スポーツサスペンションプラス、RS 専用チューンがなされたダイナミックステアリングが標準装備となり、オプションでセラミックブレーキも用意されています。またエンジン、ステアリング、ティプトロニック、DRC などの制御プログラムを任意に

設定できるオーディオドライブセレクトが標準装備されており、新型 Audi RS 4 Avant のダイナミック特性を、走行条件に応じて、もしくは自分好みに応じて調整することができます。

素材を厳選したインテリアと RS 専用デザインのオーディオーバーチャルコクピット

新型 Audi RS 4 Avant のスポーティなキャラクターを反映して、インテリアはブラックでまとめています。RS スポーツシート（ハニカムパターン）、フラットボトムの RS 革巻きマルチファンクション スポーツステアリングホイール、シフトゲート、イルミネーション付きドアシルトリムのそれぞれに RS のエンブレムが装着されています。オーディオーバーチャルコクピット及びヘッドアップディスプレイにも RS 専用のデザイン／機能が採用されており、ディスプレイに G フォース、トルク値などの情報を表示することができます。グロスブラック仕上げ、もしくはマットアルミニウム仕上げのカーボンスタイリングパッケージなどの仕様を注文することで、カスタマイゼーションの可能性も広がります。さらに Audi exclusive のプログラムを通じて、特別なリクエストを受けることができます。



新型 Audi RS 4 Avant は、ヨーロッパではこの秋から予約受付を開始。日本での発売時期は 2018 年春頃を予定しています。

＊本リリースは、ヨーロッパ仕様に基づく AUDI AG 配信資料の翻訳版です。

以上